

谷川海斗 バスケットボール選手(黒田電気ブリット・スピリッツ)

大東文化大学

スポーツ・健康科学部スポーツ科学科卒

4 年間は本当にあっという間でした。大学に入学してからの最初の 2 年間は、新型コロナウイルスの影響で、学校生活や部活動、そして私生活にさえ多くの制約がかかり、正直なところ少し退屈に感じたこともありました。

私はこの 4 年間、バスケットボール部の活動に全力を注いできました。入部直後、先輩方から大学バスケットボールのレベルの高さを痛感させられ、初めて挫折を味わいました。怪我のために試合に出られなかったり、試合に出ても思うような結果が出せなかったりと、自分のこれまでのバスケットボール人生そのものが否定されたように感じることもありました。「もっとやれるはずだ」と思っている、現実には厳しく、非常に悔しい思いをしました。しかし、応援してくれる方々や、期待して試合に起用して下さる監督といった多くの支えがあったからこそ、挫折を乗り越えることができました。

4 年生では副キャプテンを務め、自分の中でも責任を感じ、悩むことも多かったです。「日本一」を目指して取り組んだ 4 年間でしたが、結果的にはその目標を達成することはできませんでした。しかし、それ以上に多くの貴重な経験を得ることができました。諦めることや努力を止めることは簡単ですが、それでも継続して努力することの大切さを実感し、また多くの人に支えられていることを再確認しました。

4 年間は嬉しいことよりも悔しいことの方が多かったかもしれませんが、それでも楽しく、かけがえのない時間となりました。

現在は実業団で仕事とバスケットボールの両立に励んでいます。1 年目ということもあり、仕事とバスケットボールの両立には苦勞していますが、これから先、どんな困難や試練に直面しても、大学生活で得た経験や学びを糧に、一つ一つ乗り越えていきたいと思えます。